ティッ こくぶんじ

2022. 3　No.53

国分寺市立男女平等推進センター情報誌

・楽しく学ぼう アウトドア防災
だれもが安心して過ごせる
避難所運営---2-3

・性の多様性と人権---4

・国分寺市　すべての人を大切にするまち宣言
---5

・あしあと　朝倉さくさん---6

・ライブラリーニュース---7

・相談室のご案内---8

男女共同参画と防災

災害大国の日本で、防災について考える必要性がますます高まっています。

災害が起きた時、女性や子どものために準備する必要があるものは何でしょうか？

誰もが安心して過ごせる避難所を運営するにはどのような視点が必要でしょうか？

被災経験とアウトドアの知識を生かし、全国で講演を行っている講師をお招きして講座を開催しました。

講師
あんどうりすさん
（アウトドア防災ガイド）

阪神淡路大震災での被災経験とアウトドアの知識を生かし，2003年から全国で防災についての講演を行っている。

第1回　令和3年 9/12　楽しく学ぼう　アウトドア防災講座
防災グッズを日用品に

特別に防災グッズをそろえなくても、アウトドアグッズなどで災害時の備えをすることは可能です。
講座で紹介された中からいくつかご紹介します。

いつものカバンを防災仕様に！

・小さな子どもがいる人は、防災専用のバッグは不要。いつも持ち歩いているバッグが防災仕様になるといい。
・バッグの中に入れておきたいのはホイッスル。玉が入っていないものがよい。
・防水バッグがあれば、バケツに使え、洗濯や水入れに利用できる。
・長持ちするLEDライトを持つ。　・下着は高性能素材インナー
・おむつ替えのマットを断熱マットにすると、防寒対策にも使える。

アウトドア用品の活用を！

・アウトドア用レインウエアは機能的かつ効果的（透湿防水素材がおすすめ）。赤ちゃんの場合は120センチを購入しておくと6年以上使用できる。
・テントの方が車より暖かいので、首都圏等在宅避難になる可能性が高いエリアではテントがひとつあるとよい。
・停電時にはポータブル電源の利用価値が高い。

★地域のハザードマップで自宅地域の危険を知って対策を取ることが大切。

★もっと知りたいときは…

公式サイト あんどうりすの防災・減災　りす便り
https://andorisu.jimdofree.com/

災害対応力を強化する女性の視点～男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン～（内閣府）
https://www.gender.go.jp/policy/saigai/fukkou/guideline.html

←ライツこくぶんじ図書資料室で借りられます

第2回　令和3年 9/26　地域で考えよう だれもが安心して過ごせる避難所運営

避難所で犯罪を起こさせないポスター作りや、災害時の乳幼児栄養支援など多様な視点で考えることが必要です。

平常時からの男女共同参画の推進が防災・復興の基盤になります！

・人口の半分は女性であり、女性の視点を反映することは、地域の防災力向上に繋がる。
女性の視点の重要性は、防災・復興に関する取組の基本的な考え方のひとつとして世界的に共有されている。

被害者のせいにしない！加害者や傍観者を許さない取組

・性暴力・DV防止に関するポスター掲示・照明や防犯ブザーで安全を確保
東日本大震災の経験に基づき、熊本地震などの際には、発災後すぐに性暴力防止のポスターを避難所に掲示し、防犯ブザーを配布した。
・避難所の巡回警備は男女ペアで行う　・女性用のトイレや更衣室は女性が巡回する
・女性相談員や女性専用相談窓口を設置する　など…

この時代を生きるために
自分のこと，相手のことを思う気持ち

憲法記念行事として、「性の多様性と人権」の理解を深める講座がオンラインで行われました。

講師はフェンシング元日本代表でトランスジェンダーの杉山文野氏。ご自身の経験を含め、LGBTQを取り巻く社会情勢や現在の活動についてお話いただきました。講座内容の要旨をご紹介します。

性のあり方の4要素

①からだの性
②こころの性
③好きになる性
④表現する性

誰もが生きやすい社会に向けて

自身の性自認について他の人に伝えた時の対応や態度について違和感が拭いきれなかった。LGBTQはいない前提で社会の仕組みができてきたため、疎外感を感じ、自己肯定感を持てないこともあった。LGBTQの比率は5－10％との調査結果があり、AB型と同割合。身近な知人や家族にもいる可能性がある。

自分と同じように悩んでいる人たちの生きにくさを払しょくするために活動をスタート。性の多様性について理解される世の中に変わっていくような取り組を行っている。

広がりつつある理解の輪

ここ数年で大企業等からの応援メッセージなどが届くようになり、普及活動が進んできている。同性カップルにも携帯電話の家族割が適用されるなど、徐々に受容性の高い世の中に変化していることを実感している。

誰もが何かしらのマイノリティ。マイノリティの課題に向き合うことはマジョリティの課題に向き合うこと。LGBTQに限らず、誰もが安心して暮らせる社会の実現を皆で目指すことが大切。

【杉山さんの著作】
「ダブルハッピネス」作:杉山文野　出版:講談社※1
「元女子高生、パパになる」作:杉山文野　出版:文藝春秋
「ヒゲとナプキン」作:乙武洋匡　原案:杉山文野　出版:小学館※1
「3人で親になってみた」作:杉山文野　出版:毎日新聞出版※1

【杉山さんのおすすめ絵本】
「くまのトーマスはおんなのこ」
作:ジェシカ・ウォルトン　出版:ポット出版プラス※2

※1は国分寺市立図書館、※2はライツこくぶんじ図書資料室に蔵書があります。

性的指向・性自認等についての相談窓口を開設しています

性的指向・性自認等に関するお悩みを、専門知識を持つ弁護士がお聞きします。
匿名でご相談いただけ、相談内容についての秘密は厳守いたします。

利用無料
完全予約制

国分寺市 にじいろ相談

詳しくは、こちらから

「国分寺市すべての人を大切にするまち宣言」が制定されました

令和3年12月10日に国分寺市で制定された「国分寺市すべての人を大切にするまち宣言」について、編集委員が人権平和課の担当者に聞きました。

編集委員（以下、委員）：なぜ今このような宣言をしたのですか？

人権平和課担当者（以下、担当）：昨今、様々な人権問題が世界的に起きています。また、大規模災害の発生や新型コロナウイルス感染症の拡大も、問題をさらに深刻なものにしています。

国分寺市ではこれまでも男女平等推進条例の理念に基づき、「性別にかかわりなくだれもが個人として尊重され」「個人の社会における活動の自由な選択が妨げられることなく、多様な生き方が選択できること」を目指して取り組んできました。しかし今もなお、そのような社会の実現にはまだまだ課題があるのが現実です。

このような状況の中、より住みやすく暮らしやすいまちにしていくために、庁内や市民に向けて、あらためて人権や多様性の大切さを認識し表明することとしました。

国分寺市すべての人を大切にするまち宣言

すべての人はかけがえのない存在であり、すべての人の尊厳は守られるべきものです。

しかし、今もなお世界では尊厳が損なわれる事実が起きています。

いかなる理由による差別も受けることなく、すべての人が個人として尊重され、多様な生き方を相互に認め合える共生社会の実現のため、「すべての人を大切にするまち」を宣言します。

1　互いの立場を認め合う国分寺市

1　互いの意見を認め合う国分寺市

1　互いに助け合う国分寺市

令和3年12月10日　国分寺市

委員：宣言を制定した日に意味はありますか？

担当：12月10日の世界人権デーに合わせて制定されました。このような宣言を制定するのは、多摩地区では国分寺市が初めてです。

委員：宣言があることで何か変わりますか？市民はこの宣言を受けてどのように行動していけばいいですか？

担当：この宣言は「年齢」「国籍」「性別」などに関わらずすべての人を大切にするという市の決意表明です。と同時に、市民の皆様にも宣言の趣旨を理解いただき、差別のない社会について考えていただければと思います。

委員：宣言のポスターを見ましたが、ひらがなでルビが振ってあるのでわかりやすいですね。

担当：より多くの市民の方に宣言の内容を理解してもらうことを意識しました。宣言の案文を作成する前には、市立中学校全校に伺い、生徒会の方々に差別のない社会を作ることについて聞きました。「お互いを尊重して、誰もが自分らしく生きる社会にしたい」「LGBTQや外国人の方、障害のある方が何に困っているかを知り、偏見を持たないことが大切」などの意見が出され、若い人たちも人権についてしっかり考えていると思いました。

委員：ぜひ多くの市民の方に、宣言の意義を知ってほしいですね。

担当：市内数カ所に横断幕を設置するほか、HPやSNS、チラシなどで周知します。

あしあと

©NATORI

朝倉　さく　さん
（79歳　本町在住）

がんばりやさんだった学齢期

「さく」という名前は、高祖母の中川さく（江戸時代末期の文久3年生まれ）の生き方や考え方を尊敬していた父が、我が子にもつけたいということでついた名前です。私はその高祖母と5年生の時まで一緒に暮らしました。90歳で亡くなったときには茨城県で一番長寿だったと新聞に大きく取り上げられたのを今でも覚えています。

下館市立大田小学校（当時）には、林や田んぼの中を一時間くらい歩いて通いました。皆勤賞でしたね。下館市立南中学校の3年間も皆勤で、卒業式の時に校長先生から「9年間皆勤でしたね」と声をかけていただきました。中学卒業の時、123人の中で高校を受験したのは男性10人、女性4人くらいでした。我が村では女に教育はいらないという考えだったので、私は（全日制）高校に行きませんでしたが、もっと勉強したいと思い、新聞で見た通信教育のことを担任の先生に連絡して願書を書き、締め切り直前、一人で水戸線に乗って水戸第一高校事務室まで願書を届けました。隣の駅くらいしか行ったことがなかったので、外国に行くような緊張した気分でした。

学ぶことと働くことを両立した高校時代

高校の通信教育では、NHKの教育番組で学び、レポートを出し、スクーリングに通いました。一方で、下館市内の田村和裁所に住み込みで女性80人の共同生活をしていました。この和裁所は卒業後には独り立ちできると評判でした。私は和裁の腕を上げると呉服屋さんの仕事もしました。集団生活で仕事もしながら学習する時間を取るのは、本当に大変でした。

2年半で和裁所を卒業し、通信教育を受けていることを条件に採用された新治（にいはり・当時）の仙波医院（内科・小児科）で働きました。ちょうどお手伝いさんが結婚して辞めるタイミングだったので住み込みになりました。この間も通信の学習も続け、昭和37年に無事卒業しました。200人が一緒に入学したのですが、卒業したのは12人だけ。学びと仕事の両立は難しかったですね。

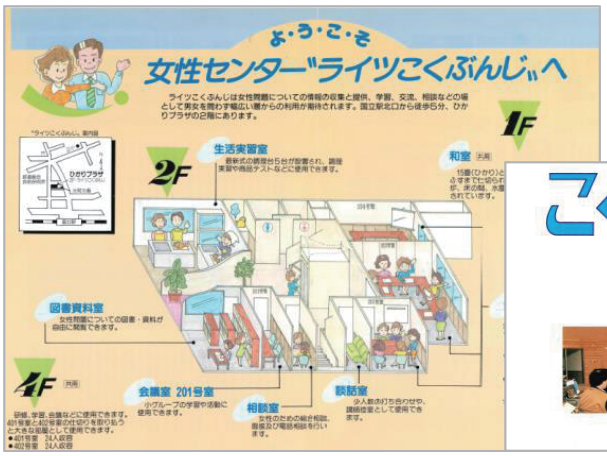
ライツこくぶんじがオープン

平成3年に新居を建て、4世代8人家族で国分寺市民になりました。国分寺市役所で、市報に「ふるさと特派員」募集の記事を発見。国分寺のことを知りたいし友だちも作りたい、と思って応募しました。初めての取材は、国分寺に女性センターができるとのことで図面を見せてもらったことを覚えています。ちょうど同じ頃、国分寺市本多公民館でも講演会（中央沿線8市「多摩から女性のパワーを」）を企画運営しました。

ライツこくぶんじオープンフェスタで思い出すのは、「ダヴィデ」（当時、国分寺唯一の男声合唱団）によるコーラス。黒のスーツに真っ赤なバラを胸花にして、女性にエールを送ってくださいました。フェスタでは市瀬寿子さんが指揮されていたのですが、私はその市瀬さんを、編集委員として取材し、「こくぶんじの女性」第7号に記事を書きました。当時の女性センターでは毎年のように大きな講演会が開かれ、新たな学びがたくさんありました。その記事を情報誌に書くのですが、慣れないワープロを車に乗せて仲間の家で操作を教わりながら作ったことが何回もありました。せっかく打ち込んだ記事なのに、保存し忘れてパアにしてしまったことも…。

活躍の場を広げる

編集委員をしていた平成4年に、「いかそう女性センター　つくろう女性のネットワーク」との座談会がありました。そこに元市議の方が参加されていて、この出会いは大きかったですね。その方から国分寺で難病の会を作ると言われてその会の副会長になりまして、その縁でこくぶんじ障害者の会（国分寺障害者団体連絡協議会）に関わるようになり、さらに喫茶こだまや喫茶ほんだのスタッフとしても働くようになりました。地域の皆さんとのたくさんの出会いは、私にとっては様々な学びでした。人と人との関わりをこれからも大切にしていきたいと思います。



←ライツこくぶんじ開館の記事
（「こくぶんじの女性」第8号 平成6年）

ライツこくぶんじオープンフェスタが表紙に
（「こくぶんじの女性」第9号 平成7年）↓

ライブラリーニュース　男女平等推進センター図書資料から、編集委員のおすすめと新刊図書を紹介します。

■生き方が多様になってきたこの時代、絵本という子どもにも分かりやすい形でさまざまな家族の形を示した一冊。同性カップルと子ども、肌の色の違う親子、一人の親と二人の子供。血の繋がりだけが全てではないと教えてくれ、大人が説明できるように難しいことには注釈がついている。いろいろな世代、立場から読んでほしい絵本です。

『ようこそ！あかちゃん せかいじゅうの家族のはじまりのおはなし』 レイチェル・グリーナー他著　大月書店

■医者である筆者が、地震や感染症などの災害が起きるたびに不安、めまい、不眠、動悸、抑うつなどを訴える患者が増えることから、これらを「災害不調」と名付け、その解消方法を紹介した本です。心のバランスを整えるセロトニン（別名：幸せホルモン）など、とても分かりやすい説明です。

『災害不調 医師が見つけた最速の改善策』
工藤 孝文　ＫＡＤＯＫＡＷＡ／角川新書

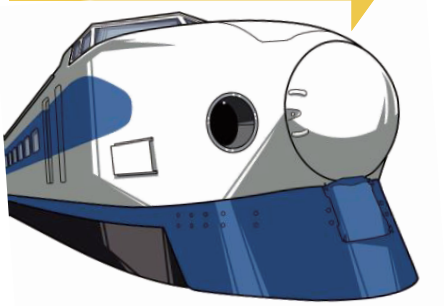
『マジョリティ男性にとってまっとうさとは何か ＃MeTooに加われない男たち』
杉田俊介著
集英社新書

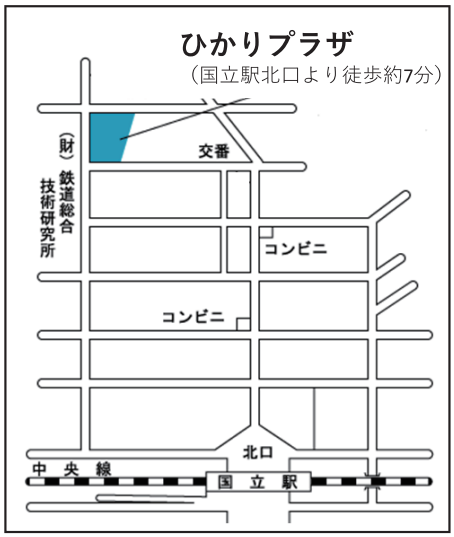
『差別はたいていの悪意のない人がする』
キム・ジヘ著
大月書店

ライツこくぶんじ図書資料室の利用方法

開室時間	月曜日から金曜日の午前９時から正午まで、午後１時から午後５時まで 土・日・祝日・ひかりプラザ休館日（原則第２・４月曜日）・年末年始（12/28～1/3）を除く
利用できる方	本を借りることができるのは、国分寺市に在住、在勤、在学、在活（ライツこくぶんじで相談・活動中の方を含む）の方です。
初めて図書等を借りる方は	「貸出登録票」に記入し、住所・氏名がわかるもの（保険証・免許証など）を提示してライツこくぶんじ職員に利用カードの発行申込みをしてください。ライツこくぶんじ専用の図書資料室利用カードを発行します。
図書等を借りるには	借りたい図書等とライツこくぶんじ図書資料室利用カードを職員に提示してください。図書は１人５冊まで、視聴覚資料（ＣＤ、ＤＶＤ等）は１人２タイトルまで借りられ、貸出期間は２週間です。 【注意】市内図書館の利用カードでは貸出しできません。
返却方法	ライツこくぶんじ事務室が開いている時は、直接職員にお返しください。図書資料室開室時間外及び休室日は、ひかりプラザ２階事務室入口横の返却ポストに入れてください。

ライツこくぶんじ案内図
（男女平等推進センター）
※相談もこちらで行います。詳しくは8ページをごらんください。





No.53
国分寺市立男女平等推進センター「ライツこくぶんじ」国分寺市市民生活部人権平和課　「ライツこくぶんじNo.53」編集委員　朝倉さく・佐々木雅史・高村絵里・冨永順子・林博巳・細野佳苗・村上康子・渡辺典子　〒185-0034 東京都国分寺市光町1-46-8 ひかりプラザ2階　電話042-573-4378　FAX042-573-4388

生理用品の無料配布

様々な事情から生理用品の入手が困難な方に防災備蓄品の配布を行っています。

配布場所

生活福祉課（市役所第2庁舎）
人権平和課、社会教育課（ひかりプラザ）
市社会福祉協議会（福祉センター）

相談室のご案内

相談はひかりプラザ2階で行います。
ひかりプラザの場所は、7ページ地図をご確認ください。

悩みに応じて相談（無料）をお受けします。相談内容やプライバシーに関する秘密は厳守します。

※祝日・年末年始は相談を実施しておりません。

▼女性の悩みごと相談
月～金曜日　午前9時～正午、午後1時～5時
（電話・面談・メール）　※面談は午後4時まで

▼犯罪被害者等支援相談
月～金曜日　午前9時～正午、午後1時～5時
（電話・面談・メール）　＊面談は午後4時まで

予約不要　042-573-4342

▼女性のためのカウンセリング
第2・第4火曜日　午後1時30分～4時30分
1回50分（電話または面談）

▼女性のための法律相談
第3木曜日　午後1時30分～4時30分
1回30分（面談）

▼身近な人権相談
第2木曜日　午後1時～4時
1回30分（面談）

▼にじいろ相談（4ページに関連記事）
午後5時～8時（相談日は予約時に連絡）

予約制　042-573-4378

相談予約専用メールアドレス　soudan@city.kokubunji.tokyo.jp

男女平等推進センター（ライツこくぶんじ）団体登録の受付

男女共同参画社会の実現を目指して学習や活動を行っている団体の登録を受け付けています。登録団体には活動支援のため、使用料の免除及び優先的に施設の貸し出しを行っています。継続・新規で登録を希望する団体は、申請が必要です。申請書は市HPからもダウンロード可能です。

編集後記

「あしあと」の取材を受けて自分の人生が懐かしくなりました。67年前小学校卒業サイン帳に「自分の信じる道を歩んで下さい」と書いて下さった先生の言葉が今の私です。（あ）

思ったように活動に参加することができませんでしたが、今回編集委員の役割を通じて貴重な経験をさせていただきました。（さ）

新型コロナをきっかけに感じたこと。国民が、世界が、一つの目標（感染予防）に向かって力を合わせている素晴らしさ。（は）

以前から興味を持ちながらも遠巻きに眺めていたような分野であるLGBTQおよび防災について理解や知識が深まりました。（村）

災害被災者となること。マイノリティとなること。いずれも他人事でなく我が身に迫る事象だと、気づく契機になればと願う。(絵)

国分寺市は大きな災害が少ないまちですが、防災講座を受講して、地震や豪雨への日頃の心構えを学ぶ良い機会になりました。（と）

オンラインメインの記事作成でした。これも数年後良い思い出になると信じています。国分寺がより良い街になりますように。（ほ）

今号から就任。朝倉さんとライツ編集委員経験アリ＆あしあとロゴ誕生時委員で今号あしあと欄担当。不思議な気分。（わ）